

平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジャマイカ生涯教育基金校舎建築計画」贈与契約署名式

3月12日、中野大使は、ジャマイカ生涯教育基金成人教育センターにて行われた、平成28年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ジャマイカ生涯教育基金校舎建築計画」の贈与契約署名式に出席し、143,602米ドルの贈与契約に署名を行いました。

当プロジェクトが行われるジャマイカ生涯教育基金は、小学校・中学校の中途者を対象とし、高等学校卒業資格を得るための教育施設として1972年の設立以来その事業を拡大し、現在ではジャマイカ全土で14の教育施設を運営しています。

当基金は平成29年4月1日にNGO職業訓練団体ハート財団職業訓練局の傘下となる予定であり、それにより元来基金が重点的に行ってきたリテラシー教育のみならず、雇用機会の拡大を目的とした職業訓練までを一元的に担う、ジャマイカ国内最大級の教育団体となります。

しかしながら教室数の不足の為、キングストン市ダウンタウン地区東通りに同基金が保有するジャマイカ生涯学習基金成人教育センターでは、現状150名収容可能な施設を301名の学習者が利用しており、増え続ける新規登録希望者にも対応できない状況が続いています。

当プロジェクトでは、上記施設に新たに4教室、学習者用トイレ、職員室を有する建物を増築することにより生徒数過密問題を解消し、より多くの住民に基礎教育の機会を与え、それにより更に包括的な職業訓練の機会を得ることが可能となり、雇用機会の拡大に繋げ、国民の生活をより豊かにすることを目的としています。

署名式には、リード教育・青年・情報大臣、同基金関係者など約60名が出席しました。リード教育・青年・情報大臣をはじめとする来賓、学校関係者は、日本の援助に対する感謝と、新校舎建設によってより多くの住民に教育の機会を与える環境が整うことに対する喜びを述べました。中野大使は、今後もジャマイカ政府と協力しながら、人間の安全保障の骨子とも言える教育に対する援助を惜しまないと述べました。



(左) ルエル・リード教育・青少年・情報大臣によるスピーチ



(右) ウォレル・ヒバート事務局長によるスピーチ



中野大使によるスピーチ



贈与契約の署名



小切手の贈与



被供与団体から中野大使への贈り物



写真撮影